

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	あきやま学寮等管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	あきやま学寮等指定管理事 業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	事業 期間	目	6	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		佐野市観光施設条例	H18	実施方法	一部委託
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		佐野市観光施設条例施行	終了年度	R5	事業分類
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備		規則			施設維持管理事業
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	R5年度からの指定管理者不在のため、施設は休止している。今後の活用に向け手法を含め検討していく。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設を活用し観光誘客の増につなげる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	9,500	7,000	7,100	-	-
		市の観光入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	休止中ではあるが今後活用が可能な状態を維持できるよう、管理に取り組んだ。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		修繕箇所	箇所	4	4	1		
		事業費計	千円	13,277	12,008	0		
		一般財源	千円	13,277	12,008	0		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	休止中であるため利用者はいなかった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		施設利用者数	人	1,178	1,142	0	値が大きいほど良い	効果が下がった
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・R6年度は施設を休止し、今後の活用の検討を行った結果、他自治体でも導入例のある民間提案制度の導入に向けて準備を行った。
・民間提案制度を導入し、民間の活力を活用した施設の運営を図る。

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明		
	□ 事業効果を上げるための事務改善の検討	□ 事業費の見直し検討	□ 業務時間効率化のための事務改善の検討
□ 事業効果を上げるための事務改善の検討			
□ 事業費の見直し検討			
□ 業務時間効率化のための事務改善の検討			
☑ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）			

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	たぬまふるさと館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	たぬまふるさと館維持管理事		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係	業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	事業	目	1	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		期間	開始年度	H8	実施方法
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度			一部委託
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	田沼地区を中心とした歴史、産業、芸術、文化、生涯学習の拠点施設として、地域産業の発展、教養文化の向上を図る。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	展示会等を市民が利用することで文化的活動の促進と地域産業の周知を図るとともに、たぬまふるさと館が安全に利用できるよう、適切な維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来館者数	人	12,500	5,000	7,000	9,000	11,000
		展示室利用団体	組	20	20	20	25	25

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	観光施設の紹介、遺跡出土品・伝統産業品・特産物の展示。 企画展等市民の発表の場を提供する。 山城サミットで使用した甲冑や資料を展示し、国指定史跡唐沢山城跡のPRを実施。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		各種契約事務	件	3	3	3		
		施設整備・修繕回数	回	3	3	2		
		事業費計	千円	4,408	5,168	4,910		
		一般財源	千円	3,387	4,210	3,875		
		特定財源（国・県・他）	千円	1,021	958	1,035		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	来館者及び展示利用団体が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来館者数	人	5,056	5,453	4,782	値が大きいほど良い	効果が下がった
		展示室利用団体	組	17	17	12	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい		
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・例年と同様に施設の維持管理、貸館業務を行ったが、利用者数、利用団体とも減少しており、施設の今後の在り方を再検討する必要があると考える。

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
施設の今後の方向性を踏まえ、施設の在り方の検討を進める必要がある。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	みかも山観光物産会館解体事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課			7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H2	実施方法
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			期間	終了年度	事業分類
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備		事業	事業分類	施設維持管理事業	
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	みかも山観光物産会館の廃止に伴う解体工事。
------	-----------------------

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	みかも山観光物産会館の解体	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		解体工事	件				1	

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	栃木県及び公園管理者と協議を重ね解体工事を実施した。 解体後、会館敷地を件へ返還した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		解体工事	件			1		
		事業費計	千円	0	0	9,676		
		一般財源	千円			9,676		

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	県の指定するとおり解体工事を実施し、返還した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		解体工事	件			1	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断			効果		
		効果が上がった指標数	1指標			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		効果は変わらない指標数	0指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果が上がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組
-----------------------------------

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 款 項 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	万葉自然公園かたくりの里維持管理事業		7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等 佐野市万葉自然公園かたくりの里条例	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		H2	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	万葉自然公園かたくりの里の維持管理業務。（施設の管理、修繕、警備委託、消防設備保守点検委託、清掃等委託）
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	かたくりの里を適切に維持管理し、施設来訪者が増加する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来場者数	人	30,000	30,000	30,000	31,000	32,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	万葉自然公園かたくりの里の維持管理 ・施設の管理、修繕 ・各種業務の委託（管理センター警備、消防設備保守点検、駐車場・群生地清掃業務等） ・業務委託先との連絡調整	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		修繕箇所	箇所	4	1	0		
		市内観光客入込数	千人	6,430	7,134	7,402		
		事業費計	千円	3,780	3,408	3,042		
		一般財源	千円	3,780	3,408	3,042		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	来場者数が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来場者数	人	22,316	26,222	26,960	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
			○				
			費用は下がった				
			費用の増減無し				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

キツネノカミソリの繁殖により、かたくりの花が減少している。
-------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明	キツネノカミソリの繁殖対策。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	林道作原沢入線展望台等整備事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	3-⑥	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算	会計	一般	事業計画	期間限定複数年度
	課	観光推進課	林道作原沢入線展望台等		款	7	新規or継続	新規事業
	係	観光推進係	整備事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2121	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	R5	実施方法
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		一部委託
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類
	基本事業	1	新しい観光資源の開発と整備					施設等整備事業

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	観光資源として林道作原沢入線に展望台等を整備し新たな観光ルートを開発する。
------	---------------------------------------

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	観光誘客の推進	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市の観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	展望台設置に向けて地権者との交渉を進めた。また、交渉に伴い令和5年度に実施した概略設計を基にパース図（完成予想図）を作成したが、当初予算の実施設計の実施はできなかった。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		概略設計の進捗率	%	-	100	-		
		実施設計の進捗率	%	-	-	0		
		事業費計	千円	0	1,760	473		
		一般財源	千円	0	0	473		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	1,760	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	展望台設置に向けた準備段階であるため、特段の成果はない。ただし、完成した際には観光客入込数の増加に貢献できるものと考える。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市の観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			費用が増加した ○
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数					
	効果が下がった指標数					
	指標全体		効果が上がった			

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・地権者との協議を重ね、令和7年度当初の地権者の総会で事業実施の賛否を問う事となったため、事業（詳細設計、実施工事）を進めることはできなかった。
・地権者の意見等を取り入れた内容を事業実施の際には可能であるものは反映することが必要と考える。

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	栃木県温泉保護協会参画事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	栃木県温泉保護開発協会参画事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			項	1	市単独or県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称		目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	H12	実施方法	直営
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度	事業分類	参画事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	栃木県温泉保護開発協会に会員として負担金を支出し、協会主催の講習会への参加等により温泉専門分野の情報収取を行う。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	温泉利用の促進と適正な温泉保護により、安全に利用できる施設を維持する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		佐野市温泉スタンド利用量	t	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	(市の活動) 同協会への負担金の支出、講習会参加、負担金 7千円 (栃木県温泉保護開発協会の活動) 会議、温泉講習会の開催 や栃木の温泉 P R 冊子の発行、その他情報提供等を実施	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		温泉講習会の受講	回	1	1	1		
		PR冊子への紹介記事掲載	回	1	1	1		
		事業費計	千円	7	7	7		
		一般財源	千円	7	7	7		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		(うち受益者負担)	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	温泉利用量が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		佐野市温泉スタンド利用量	t	293	528	171	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)	温泉利用量が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		佐野市温泉スタンド利用量	t	293	528	171	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断					
		効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
		効用	費用は下がった				
			費用の増減無し			○	
			費用が増加した				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

温泉スタンドの温泉汲みあげ量が不安定である。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなる可能性がある。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
温泉を安定的に汲みあげるための大規模工事の必要性を検討する。温泉法上の基準を満たさない場合の施設のあり方を検討。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	根古屋森林公園指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	根古屋森林公園指定管理		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係	事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	事業 期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		佐野市観光施設条例	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		佐野市観光施設条例施行	終了年度	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備		規則			
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	根古屋森林公園の総合案内施設、キャンプ場、コテージ、根古屋亭、貸農園、飛駒和紙会館等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。市は適切な維持管理、運営が行われているか状況を把握し、管理・指導を行う。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設や周辺の整備を行い、伝統文化である飛駒和紙をPRすることで利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	2,600	2,600	2,700	2,800	2,900
		指定管理料を除く収入実額	千円	5,650	5,950	6,250	4,800	4,900

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	施設の利用促進と宿泊客の確保。貸農園の利用促進。和紙会館での伝統文化の周知など。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		修繕箇所数	件	2	3	0		
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402		
		市の観光客宿泊数	人	56,943	64,290	63,648		
		事業費計	千円	14,315	13,593	13,940		
		一般財源	千円	14,315	13,593	13,940		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	来場者及び売上額が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい	
		施設利用者数	人	1,578	1,868	1615	値が大きいほど良い	効果が下がった
		指定管理料を除く収入実額	千円	5,037	5,682	5239	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

管理者の高齢化がすすんでいる。また、後任人材が不足している。
--------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
指名ではなく、公募による指定管理者選定とする等、指定管理者の在り方検討が必要。

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	根古屋森林公園改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課			7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称 根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり			H2	実施方法	一部委託
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備		事業期間			
	基本事業	2 利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### (1) 事業概要

事業概要	利用者及び地域住民の安全性を確保するため、経年使用した根古屋森林公園の電気設備及びコテージのウッドデッキの改修工事を行う。
------	---

### (2) 目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	利用者及び地域住民の安全性を確保する	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	2600	2600	2700	2800	2900

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### (1) 活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高圧ケーブル更新</li> <li>・柱上気中開閉器（PAS）更新</li> <li>・コテージウッドデッキ改修</li> </ul>	活動指標	単位	R4	R5	R6	
		修繕箇所数	件			3	
		事業費計	千円	0	0	2,295	
		一般財源	千円			2,295	
		特定財源（国・県・他）	千円				
		(うち受益者負担)	千円				

### (3) 活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設利用者数は減少となった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	↓選択して下さい
		施設利用者数	人	1578	1868	1615	値が大きいほど良い 効果が下がった

### (5) 費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断				効果
		効果が上がった指標数	0指標				
		効果は変わらない指標数	0指標				
		効果が下がった指標数	1指標				
		指標全体	効果が下がった				

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		

## 4. 次年度に向けた検討

### (1) 令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

--

### (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	温泉スタンド維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課	温泉スタンド維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	佐野市温泉スタンド条例	目	6	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H13	実施方法	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類	
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	市民や道の駅利用者等の観光客に温泉の提供を行う。また、保守管理や水質検査を業務委託により実施し、施設の適切管理を行う。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設を適切に維持管理し、市民や観光客に温泉を供給する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		温泉利用量	t	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	機器の保守管理、温泉の水質検査の実施 一般給湯口での一般客への温泉提供及び隣接する「道の駅どまん なかたぬま」足湯での利用	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		保守点検回数	回	24	24	24		
		水質検査回数	回	1	1	1		
		施設等修繕回数	回	0	0	0		
		事業費計	千円	1,452	1,459	1,516		
		一般財源	千円	1,452	1,459	0		
		特定財源（国・県・他）	千円			1,516		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	温泉利用量が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		温泉利用量	t	293	528	171	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断					効果	
	効果が上がった指標数	0指標						
	効果は変わらない指標数	0指標						
	効果が下がった指標数	1指標						
指標全体		効果が下がった						

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

温泉の汲みあげ量が不安定。また、温泉の温度が低下傾向にあり、温泉法上の基準を満たさなくなる可能性がある。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

取組説明
温泉を安定的に汲みあげるための大規模工事の検討。温泉法上の基準を満たさない場合の施設廃止を検討。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	蓬山ログビレッジ指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	蓬山ログビレッジ指定管理事業		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	事業 期間	目	6	義務or任意	任意の事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		佐野市観光施設条例	H18	実施方法	指定管理者
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		佐野市観光施設条例施行	終了年度	事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備		規則			
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	蓬山ログビレッジの総合案内施設、コテージ、よもぎの湯、フィッシングセンター、蓬山レストラン等の維持管理、運営を指定管理者に行わせる。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設や周辺の整備を行い、利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	25,000	25,000	25,000	20,000	20,000
		施設利用料	千円	12,000	12,000	12,000	10,000	10,250

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	コテージ運営による宿泊客の確保やよもぎの湯を中心とした日帰り客の誘致。蓬山レストランやフィッシングセンターによる誘客。また施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。遊具の適切な修繕工事を行った。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		施設整備、修繕箇所数	箇所	4	3	4		
		市の入込観光客数	千人	6,429	7,134	7,402		
		事業費計	千円	7,898	6,350	7,220		
		一般財源	千円	7,898	6,350	7,220		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保し、施設の魅力をPRすることで、施設利用数等が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		施設利用者数	人	13,646	14,521	15,145	値が大きいほど良い	効果が上がった
		施設利用料	千円	7,591	7,729	9,334	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			費用は下がった			
			費用の増減無し			
			費用が増加した	○		

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

近年は類似施設の増加や施設の老朽化に伴い、利用者数が伸び悩んでいる。
------------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明	今後施設の見直しを図り、観光客のニーズに合った施設にしていくため長期的な計画が必要である。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	蓬山ログビレッジ改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課	蓬山ログビレッジ改修事業		款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行 規則	目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H2	実施方法	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類	
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	観光客の安全及び利便性を図るため、老朽化した蓬山ログビレッジのコテージウッドデッキの改修を行う。併せて、老朽化が原因で不具合が生じているよもぎの湯の給湯設備改修工事を行う。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設や周辺の整備を行い、利用者の拡大を図るとともに、安全な施設利用ができるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		施設利用者数	人	25000	25000	25000	20000	20000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	施設の適正な管理を行い、利用者の安全性、快適性等を確保する。遊具の適切な修繕工事を行った。  ・コテージウッドデッキ改修 ・よもぎの湯給湯設備改修工事の設計	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		市の入込観光客数	千人	6,429	7,134	7,402		
		事業費計	千円	0	0	3,597		
		一般財源	千円			97		
		特定財源（国・県・他）	千円			3,500		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	施設の適正な管理を行うことで、施設利用数等が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		施設利用者数	人	13646	14521	15145	効果が上がった	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 10万円以上の増減により判断	効果				
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

令和7年度は、キューピクル更新及びよもぎの湯改修工事、Wi-Fi設置を実施するためスムーズ工事を実施するために、施設管理者と打合せを実施する。
---

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	観光施設公衆トイレ等維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 款 項 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	観光施設公衆トイレ等維持 管理事業		7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			1	市単独or国県補助	国県補助事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行 規則	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		H17	実施方法	一部委託	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	観光施設の公衆トイレ（かたくりの里トイレ、マンサクの花咲く道トイレ、唐沢山トイレ、須花坂公園トイレ、蓬莱山トイレ、宇津野洞窟駐車場トイレ、五丈の滝駐車場トイレ、犬伏新町薬師堂の仮設トイレ）、旧田沼高校北側藤棚、唐沢山県立自然公園、首都圏自然歩道（唐沢山）等の適切な維持管理を行う。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	観光施設、駐車場、休憩施設等に設置したトイレの管理を行うことで、快適に使用できるトイレを維持する。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内観光客入込客数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	各トイレの浄化槽管理・清掃委託・施設改修 ・宇津野洞窟トイレハイタンク修繕・宇津野洞窟トイレ便器交換 修繕・宇津野洞窟手洗い水栓取替修繕・宇津野洞窟 内電気配管修繕・宇津野洞窟歩道修繕	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		清掃回数	回	300	300	300		
		施設巡回回数	回	24	24	24		
		管理する観光資源数	箇所	12	14	14		
		事業費計	千円	3,538	4,123	3,948		
		一般財源	千円	3,384	3,969	3,794		
		特定財源（国・県・他）	千円	154	154	154		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	観光地に訪れた人に不快感なくトイレ・駐車場・休憩施設・水汲み場等を利用してもらえたことから、入込客数の増に貢献できた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市内観光客入込客数	千人	6,429	7,134	7,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
	効果は変わらない指標数		○			
	効果が下がった指標数					
	指標全体					

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

各施設老朽化がすんでいるため、計画的に修繕を行う必要がある。
--------------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input checked="" type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	観光施設改修事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課	観光施設改修事業		款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業	開始年度	H19	実施方法	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行 規則	期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類	
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	老朽化した観光施設の改修を適切に行うことで観光客の安全性及び利便性を図り、佐野市のイメージアップ及び観光誘客へと結びつける。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	適切な施設改修により観光客の利便性を向上し、安全に利用できる施設とすることで、佐野市のイメージアップと観光客の増加につなげる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		市内観光客入込数	千人	10,000	8,500	8,600	8,700	8,800

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	蓬山ログビレッジコテージ及び根古屋森林公園コテージのウッドデッキをそれぞれ2か所ずつ更新した。また蓬山ログビレッジコテージ1棟の空調更新を行った。みかも山観光物産会館の取壊し、蓬萊山野外休憩施設の取壊しを実施したため、観光施設数は2カ所減となった。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		改修工事個所数	箇所	12	7	22		
		市有観光施設数	箇所	14	14	12		
		事業費計	千円	8,587	11,666	4,283		
		一般財源	千円	2,970	5,642	2,819		
		特定財源（国・県・他）	千円	5,617	6,024	1,464		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	適切に修繕、工事を実施すること施設の維持を行い、利用者の安全安心な施設利用を進めることができた。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市内観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		市内観光客入込数	千人	6,429	7,134	7,402	値が大きいほど良い	効果が上がった

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

- ・老朽化して危険であると思われる箇所、修繕が必要である箇所の修繕を行うことができた。
- ・施設の老朽化が全体的に進んでいるため、計画的に修繕を続けていく必要がある。

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

□ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）	取組説明	

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	観光物産会館指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算 款 項 目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	観光物産会館等指定管理		7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係	事業		1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	5	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		H20	実施方法	指定管理者	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり	佐野市観光物産会館条例 佐野市観光物産会館条例 施行規則	終了年度	事業分類	施設維持管理事業	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館において、観光情報の提供や地場産品の展示販売の健全かつ運営効率向上を図るために、観光や物産の振興を特定目的とする佐野市観光協会を指名し、指定管理者として運営を委託する。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	観光客等に佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の存在を知り、物品を購入してもらうとともに、安全に施設を利用できるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		観光物産会館来館者数	人	410,000	250,000	311,000	365,000	368,000
		観光物産会館売上額	千円	240,000	150,000	180,890	206,390	217,890

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に行なった主な活動内容)	佐野市観光物産会館及びみかも山観光物産会館の管理運営の委託（令和3年度～令和5年度）	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		管理委託料	円	2,100	2,100	1,575		
		指定管理者との打合せ回数	回	12	12	12		
		事業費計	千円	8,020	2,857	1,589		
		一般財源	千円	8,020	2,857	1,589		
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	来館者数及び売上額ともに増加となった。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		観光物産会館来館者数	人	246,802	282,775	304,881	値が大きいほど良い	効果が上がった
		観光物産会館売上額	千円	144,167	165,981	183,196	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）	費用（R6とR5の一般財源増減）	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		観光物産会館来館者数	人	246,802	282,775	304,881	値が大きいほど良い	効果が上がった
		観光物産会館売上額	千円	144,167	165,981	183,196	値が大きいほど良い	効果が上がった

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

光熱費及び人件費の高騰により固定費が増加している。事業の取捨選択による人件費の削減や、イベント・キャンペーン企画等により売上を向上させる必要がある。
--

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
		費用は下がった	○	費用が増減無し
効果（R6とR5の指標値増減）	費用	費用が増加した		

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

### 取組説明

利用料収入による施設の管理運営を検討する。

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	道の駅どまんなかたぬま指定管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	観光推進課	道の駅どまんなかたぬま指定		款	7	新規or継続	継続事業
	係	観光推進係	管理事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	2122	名称	根拠法令、条例等	目	4	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H20	実施方法
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		終了年度			指定管理者
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備	佐野市道の駅どまんなかたぬま条例	事業分類			施設維持管理事業
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理		佐野市道の駅どまんなかたぬま条例施行規則			

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	道の駅として、道路利用者への情報、休憩施設の提供及び情報発信、地域間の交流及び市の産業振興を図る。また、道の駅どまんなかたぬまの維持管理を（株）どまんなかたぬまを指定管理者として実施する。
------	--

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	道の駅の利用者に飲食物、お土産品等の販売、トイレ等サービス、情報提供を行うとともに、農産物直売やレストラン運営などを行い、来場者の利用を促進し、利用者の増加を図る。また、施設が安全に利用できるよう維持管理を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		来場者数	千人	2,150	2,160	2,170	2,180	2,190
		売上額	百万円	1,715	1,750	1,800	1,850	1,900

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	指定管理者（株）どまんなかたぬまによる、道の駅の運営管理を実施。 道の駅を利用する観光客への観光情報発信。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		開館日数	日	316	317	315		
		市民数	人	115,700	114,695			
		関東地方1都6県の人口	千人	43,535	47,420			
		事業費計	千円	50	53	0		
		一般財源	千円	50	53			
		特定財源（国・県・他）	千円					
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	来場者及び売上額が減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来場者数	千人	1,906	1,963	1,945	値が大きいほど良い	効果が下がった
		売上額	百万円	1,514	1,832	1,757	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果が下がった指標数 効果は変わらない指標数 効果が上がった指標数 指標全体	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		来場者数	千人	1,906	1,963	1,945	値が大きいほど良い	効果が下がった
		売上額	百万円	1,514	1,832	1,757	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

効果 (R6とR5の 指標値増減)	費用（R6とR5の一般財源増減）	※ 10万円以上の増減により判断			効果			
		効果が上がった指標数	0指標		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
		効果は変わらない指標数	0指標					
		効果が下がった指標数	2指標					
		指標全体	効果が下がった					

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

指定管理者との基本的な連携態勢の構築。
---------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	須花坂公園維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課	須花坂公園維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行 規則	目	6	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H6	実施方法	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類	
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	須花坂公園及び周辺の遊歩道の維持管理を行う。
------	------------------------

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設を適切に管理することで来場者の増加及び売上の増加を図り、安全な施設の維持を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		須花坂公園売上額	千円	21,000	21,000	21,000	22,000	23,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	須花坂公園及び周辺の遊歩道及び公衆トイレの維持管理	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		業務委託数	件	3	3	3		
		修繕件数	件	1	0	0		
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402		
		事業費計	千円	973	974	1,418		
		一般財源	千円	523	648	926		
		特定財源（国・県・他）	千円	450	326	492		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	須花坂公園の売上額が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		須花坂公園売上額	千円	13,736	16,361	17,237	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	効果（R6とR5の指標値増減）	費用が増加した	※ 10万円以上の増減により判断					効果
		効果が上がった指標数	1指標					
		効果は変わらない指標数	0指標					
		効果が下がった指標数	0指標					
		指標全体	効果が上がった					

費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	費用は下がった		
	費用の増減無し		

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

下記間むらづくり推進協議会の高齢化による人手不足。
---------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	須花坂憩い館維持管理事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課	須花坂憩い館維持管理事業		款	7	新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			項	1	市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2122	名称	佐野市観光施設条例 佐野市観光施設条例施行 規則	目	6	義務or任意	任意の事業	
	基本目標	2	新たな流れの創造による賑わうまちづくり		事業期間	開始年度	H6	実施方法	
	政策	1	観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり		期間	終了年度		一部委託	
	施策	2	魅力ある観光資源の開発と整備					事業分類	
	基本事業	2	利便性の高い観光施設の整備・維持管理					施設維持管理事業	

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	須花坂公園憩い館（そばレストラン）の管理運営を委託により行う。
------	---------------------------------

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	施設を適切に管理することで、憩い館への来客数増加、売り上げ増加を図るため、安全な施設の維持を行う。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		売上額	千円	12,498	12,500	12,500	13,000	13,500
		利用者数	人	20,000	20,100	20,200	20,300	24,000

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	須花坂公園憩い館の適切な維持管理を行う。 ・し尿処理槽維持管理委託 ・消防設備保守点検委託 ・水道管修繕、空調機修理、給茶機修繕	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		業務委託件数	件	2	2	2		
		修繕箇所数	箇所	3	1	1		
		市の観光入込客数	千人	6,429	7,134	7,402		
		事業費計	千円	374	1,277	869		
		一般財源	千円	201	851	568		
		特定財源（国・県・他）	千円	173	426	301		
		（うち受益者負担）	千円					

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	売上額及び利用者数が増加した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	↓選択して下さい
		売上額	千円	10,586	13,051	13,821	値が大きいほど良い	効果が上がった
		利用者数	人	12,721	14,234	18,093	値が大きいほど良い	効果が上がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用は下がった	※ 10万円以上の増減により判断	効果			
			効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
			○			
			費用は下がった	費用の増減無し	費用が増加した	

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

運営者の高齢化がすすみ、人材不足が顕在化している。
---------------------------

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

取組説明
------

- 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど）
- 事業効果を上げるための事務改善の検討
- 事業費の見直し検討
- 業務時間効率化のための事務改善の検討
- 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）

# 仕事の振り返りシート（令和6年度実施分）

作成・更新日 令和7年12月1日

事業名	体験型観光企画調整事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし	
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし

## 1. 基本情報

担当組織	部	観光文化スポーツ部	予算中事業名	会計	事業計画	単年度繰り返し	
	課	観光推進課			新規or継続	継続事業	
	係	観光推進係			市単独or国県補助	市単独事業	
政策体系	体系コード	2123	名称 根拠法令、条例等	事業 期間	目	義務or任意	任意的事業
	基本目標	2 新たな流れの創造による賑わうまちづくり			開始年度	H26	実施方法
	政策	1 観光とコンベンションによる賑わいと活力あるまちづくり			終了年度		直営
	施策	2 魅力ある観光資源の開発と整備				事業分類	その他内部事務事業
	基本事業	3 宿泊、体験型観光の推進					

## 2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

### （1）事業概要

事業概要	体験型観光を展開している施設管理者が、関連する情報を収集・共有し施設間の連携を推進するための企画調整会議を開催、そこで個々のメニューの見直し、磨き上げ、新しい企画等を協議する場を設ける。
------	---

### （2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい 状態)	体験メニューの充実を図り、市内宿泊者数、来訪者数を増加させる。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		体験型宿泊施設の利用者数	人	34,000	24,000	24,500	25,000	25,500
		体験額宿泊施設の宿泊者数	人	14,100	9,000	9,100	9,200	9,300

## 3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

### （1）活動実績

活動実績 (R6年度に 行った主な活 動内容)	根古屋森林公園及び蓬山ログビレッジで月1回の月例報告を行った。また、あきやま学寮を休止した。	活動指標	単位	R4	R5	R6		
		各施設との協議回数	回	24	36	24		
		体験メニュー数	個	41	33	16		
		事業費計	千円	0	0	0		
		一般財源	千円	0	0	0		
		特定財源（国・県・他）	千円	0	0	0		
		（うち受益者負担）	千円	0	0	0		

### （3）活動による効果

効果説明 (定量及び 定性)	あきやま学寮が休止したことにより、利用者数及び宿泊者数が大幅に減少した。	効果指標	単位	R4	R5	R6	指標の性質	R5とR6の比較
		体験型宿泊施設の利用者数	人	15,250	17,153	16,760	値が大きいほど良い	効果が下がった
		体験額宿泊施設の宿泊者数	人	2,879	4,019	2,897	値が大きいほど良い	効果が下がった

### （5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R6とR5の一般財源増減）	費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断	効果			↓選択して下さい	
	効果が上がった指標数		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった		
	効果は変わらない指標数		費用は下がった				
	効果が下がった指標数		費用の増減無し			○	
	指標全体		費用が増加した				

## 4. 次年度に向けた検討

### （1）令和6年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・あきやま学寮が休止となったことで、施設の宿泊者数、利用者数の減が大きくなつた。
・他の施設でも利用者数、宿泊者数は減少しているので、施設の運営の在り方の検討が必要であると思われる。

### （2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和7年度及び令和8年度の取組

<input type="checkbox"/> 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） <input checked="" type="checkbox"/> 事業効果を上げるための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 事業費の見直し検討 <input type="checkbox"/> 業務時間効率化のための事務改善の検討 <input type="checkbox"/> 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明
	・あきやま学寮が休止となり、新たに民間提案制度を導入して今後の事業の進め方は変化する。 ・蓬山ログビレッジ、根古屋森林公園についても利用者、宿泊者数が減少しているので今後の事業継続の在り方を検討する必要があると考える。